

令和7年度一般選抜（C日程）における小論文出題意図

国際地域学部

1. 小論文問題作成の基本的な考え方について

新潟県立大学国際地域学部国際地域学科のアドミッション・ポリシーに照らし合わせて、本学科での学修にあたって欠かせない資質が総合的に備わっているかどうかを確認するための出題である。具体的には知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性が発揮されることを期待している。

2. 試験問題の内容および意図について

（内容）

女性が自分らしく生きることを阻むものは何か。この問いにはさまざまな答えがあり得るが、問題文では、二人の子供を育てる女性が、子どもの頃からの違和感、就職した職場での取り組み、専業主婦となったのちの夫との葛藤などを通じて、まさに「自分らしく」この問いの答えを探す過程が示されている。この文章の中に答えを探すというよりは、答えを求める方法や姿勢を学ぶことができる文章である。

（意図）

「フェミニズム」が問題文のキーワードであることは自明だが、傍線によって注目を促している通り、筆者の態度には矛盾に近いものもみられる。問一では、何がその矛盾を生んでいるかを考えた上で、筆者のあゆみをまとめることを求めている。おもに読解力を問う問題である。

問二では、夫の発言や態度が妻である筆者を葛藤に追い込んでいることを指摘した上で、夫と妻の双方の視点から考えることを求めている。筆者の夫は、特殊な例ではなく、むしろ多数派の一人であること、彼のような家族観は、現在でも色濃く残っているものであること、従ってこれは、近い将来の自分の生き方や選択にも関わってくる問題であることに気づくことも期待している。